

ナイスケアだより

第140号
令和6年1月発行

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

1月1日に能登半島でマグニチュード7.6、地域によっては震度7まで達する大地震がありました。建物の倒壊、土砂崩れ、火災なども重なり大きな被害となりました。さらに寒さ、断水、物資が届かないなど厳しい状況が続いている様子です。ニュースで見たのですが被害を受けた地域は高齢化率が50%にも到達している地域がありました。今後復旧が遅れ長引くとさらなる被害の心配もあります。お亡くなりになった方のご冥福と早急に復興ができ今迄の生活が取り戻せることをお祈りしております。

2011年にも同様な東日本大震災がありました。東北で大きな被害がでて1万5千人以上の方がお亡くなりになりました。新宿区で働いていたケアマネジャーが岩手に転居し震災に直面しました。話を伺うことができ、津波に事業所を流され逃げ遅れお亡くなりになった方などもいたとのことでした。その話をもとに新宿区のケアマネジャー全体で『ケアマネジャーの仲間として何かできることはないか』というテーマで話し合いを持ち、寄せ書きや支援金を集め送ることになりました。そこから岩手県の釜石市、陸前高田市、大槌町のケアマネジャーとの交流が始まり現在も続いています。昨年末に釜石広域介護支援専門員協議会から長年にわたる復興の取り組みに対し感謝状が届きました。私の思いとしてはこちらが感謝しており、震災の想像を絶する体験、復興に立ち向かう方たちの取り組みに逆に励まされ力をもらってきた印象です。

東京でも今後大地震が予想されています。私たちにも同じようなことが起こる可能性があります。今回の教訓を活かし食材などの備蓄や避難訓練、地域との連携など話し合っていかなければならないと痛感しました。また国民全体でも協力体制を築き災害に備えていかなければいけない問題としました。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～初夢～

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

突然ですが、今年の初夢はみましたか？初夢は元旦の夜から2日、地方によっては2日の夜から3日にかけてみる夢のことです。昔、まだ化学が発展していなかった頃、初夢はその年の吉凶を占う特別な夢とされていました。初夢でその年の運勢がわかるということで、様々な吉夢をみる方法が考えられてきました。これは江戸時代に流行ったおまじないで、七福神が乗った宝船の絵を枕の下に敷くだけのお手軽なものだったそうです。

初夢では、「一富士二鷹三茄子」の夢をみると縁起が良いと言われています。富士は「無事」、鷹は「高い」、茄子は「成す」という言葉にかけられています。「一富士二鷹三茄子」の由来には諸説あるそうです。その中でも、徳川家康が好んだ「富士山」「鷹狩り」「茄子」を順番に並べたという説が有力だそうです。

枕の下に敷くおまじないお手軽なのでやってみようと思います。

木島 英子